

取組概要

【RX 賞】

取組名	救急医療管理加算チェックシートの電子化【24M11-3】
RX 区分	医療 RX
部署名等	医事課入院診療係 医事課病歴事務係 病院看護部
概 要	医師が診察等の結果、緊急入院が必要と判断された場合において、救急医療管理加算 1 または 2 が算定可能となるが、これまでそのチェックシートは紙面管理であり、検査結果の転記負担や必要記録の漏れが多く、病棟での手作業による記載チェック確認、医事課による記載もれ追記依頼連絡の負担、必要加算が取得できないといった現状があった。そこで、チェックシートを文書管理とし、患者情報や検査結果の自動連携、対象患者や文書作成進捗がすぐに文書管理統括画面で確認できるようにし、業務負担軽減、適正加算取得環境の整備につなげた。
作業期間	4 ヶ月
実施効果	加算算定率の増加（電子化前後 1 年間を比較し 45%→53%に向上、請求金額では 9,800,000 円増となった） （看護業務） カルテから紙面へ転記作業の軽減、医師への追記確認作業の軽減、紙面の紛失予防管理対策の負担軽減、記載内容の判読困難事例の改善。 （医事業務） 紙面回収・管理作業の軽減、記載状況管理・医師への記載依頼等の一部作業を個人依存から全体管理へ一元化でき、算定率の向上と業務効率化につながった。 （スキャン業務） 紙面管理だとスキャン業務に月平均 54 時間を要していたが電子化することでスキャンは不要となった。

特記事項	新システムでは、加算対象となる入院形態（緊急・救急）が必須項目ではなくなったため、カルテ入力漏れ対策（看護業務）が課題。 今後の展開として、医師への入力依頼のための電子カルテ付箋を自動化する（土日祝日時間外でも依頼可能）等が考えられる。
------	--

電子化に伴いスキャン件数が減少となった。

